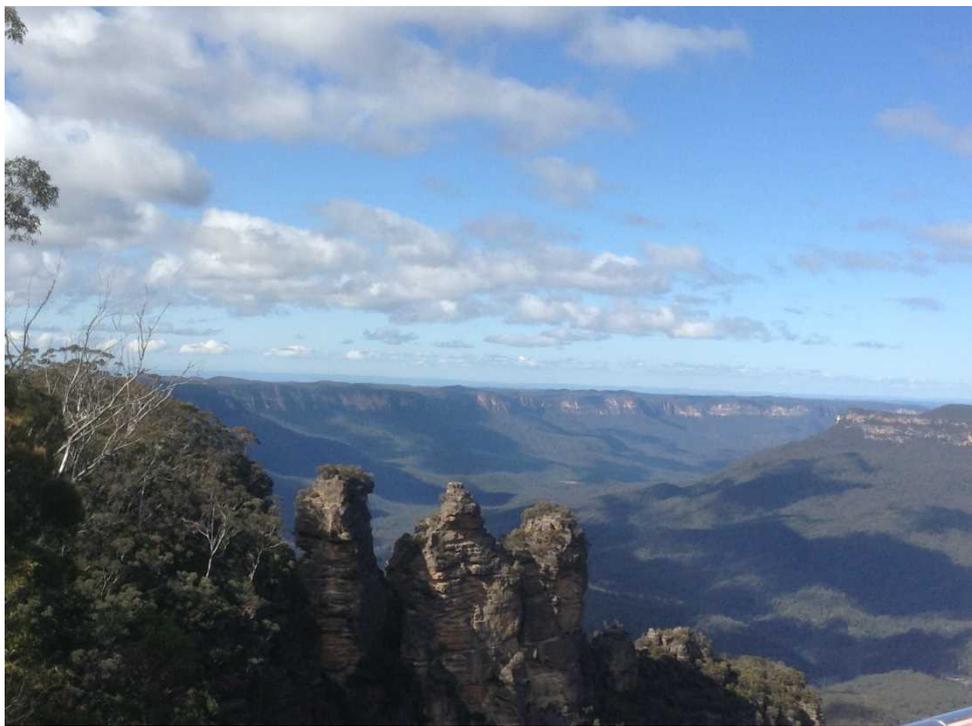


～海外研修～ in Australia



2015 7.24～8.7

兵庫県立北摂三田高等学校

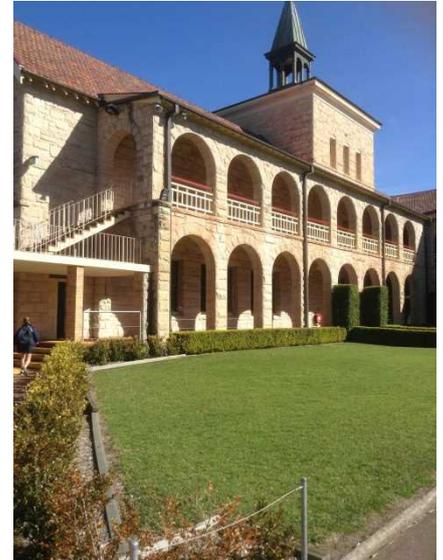
1年 北村千晶

◎はじめに・・・

今回このような機会をいただき、三田市の姉妹都市の1つである Australia（オーストラリア）の Blue Mountains（ブルーマウンテンズ）市へ親善大使として2週間行ってきました。

◎学校では・・・

大きな拍手と暖かい笑顔で迎えてくださいました。
出会うたびにほほえんで手を振ってくれたり、あいさつをしてくれたりしました。中には、日本語で話しかけてくれた生徒もいました。
St.Columba's Catholic College（セントコロンバス・カトリック・カレッジ）は、カトリック系統の学校で、お昼の12時にお祈りの放送がかかったり、授業の前に十字を切ってからスタートするなど宗教教育が盛んで、日本とは違った宗教観を体感することができました。



授業は全6時間で、50分間授業でした。2と3時間目の間には、25分間の recess（リセス）と呼ばれる、外に出てお菓子などの軽食をおしゃべりしながら食べるというものが、4と5時間目の間には、lunch（ランチ）がありました。

Period 1	授業
Period2	各 50 分
recess（リセス）25分	
Period3	授業
Period4	各 50 分
lunch（ランチ）25分	
Period5	授業
Period6	各 50 分

輪になって座っておしゃべりしたり、日本とオーストラリアのお菓子を交換したりと、とても楽しかったです。

日本のお菓子にとっても喜んでくれました。特に、抹茶のチョコレートやクッキーは大人気でした。

←タイムスケジュール

授業中・・・iPad やパソコンを使用する機会がとても多く、教科書などが電子のものもありました。

毎回の授業ごとに移動し、自分たちが動くスタイルでした。

教室は、日本とは違いガラス窓で仕切られていて隣のクラスが見えたりと開放的でした。



生徒は、受け身の授業ではなく積極的に意見や質問を述べ、先生方と一緒に「理解する」授業を作っていくという姿勢がみられました。グループでの調べ活動やディスカッション、プレゼンテーションも多く設けられており、自分の意見を人に伝えることが自然とできる環境でした。

日本にはないような授業も多く、ブルーマウンテンズ市の環境ならではの bush walking (ブッシュウォーキング) という壮大な自然の中をみんなで歩くものや、P.E. (体育) で沖縄の空手を学ぶもの、宗教の授業など興味深い授業がたくさんありました。

美しい景色、雄大な自然、優しくおもしろい友だちと歩く時間は、本当に楽しかったです。

全体を通して、ゆったりと伸び伸びとした環境の中、意見を言い合い学んでいくという学校のスタイルというのを感じました。

セントロンバス・カリック・カレッジでは、様々な国の言語や文化を選択制で学ぶことができ、私はその中でも日本語を選択していた生徒さんたちと主に交流しました。自国のことだけでなく世界に目を向けて学ぼうとしている姿勢はとてまかつこよく、見習いたいなと思います。

通学方法は、school bus(スクールバス)や車を利用する生徒がほとんどで、自転車や徒歩の生徒はほんの一握りでした。バスがくるまで学校の前で全校生徒が座って待ちながら、おしゃべりをしたりお菓子を食べたりする時間は学校での時間の中でお気に入りでした。違うクラスや学年のみんなともお話しすることができたり、写真を撮ったり楽しかったです。部活動というものがなく全校生徒が一斉に下校するのでとても賑やかでした。



学校での最後の日、日本語クラスで「日本の書道」についてのプレゼンテーションを行いました。

先生方も含め 20 人くらいを相手に 15 分程度の内容のものを英語で行い、実物や制作していた資料などを用いながらオーストラリアの方々に「書道」について伝えることができました。

みんなとても真剣に興味を持って聞いてくれ、話しやすい雰囲気でした。向こうの先生方やホスト、友だちから「よかったよ！」と言ってもらえたときには、満足感とうれしさが入り混じった幸せな気持ちになりました。

その後、2 週間一緒に過ごした日本語クラスのみんなや先生方が「お別れサプライズパーティー」を開いてくださいました。オーストラリアのお菓子や飲み物を紹介しながら食べたり、何より、日本語での質問タイムが本当におもしろかったです。



お別れは泣かないって決めていましたが、本当にいい方々と出会えたなと思わず少し涙ぐんでしまいました。

短い間ではありましたが、セントロンバス・カリック・カレッジの一員になれたこと、たくさんのすてきな出会いができたこと、決して忘れないと思います。

◎ホストファミリーと

私のホストファミリーの Pell さんたちは、音楽、美術、そして日本が大好きな温かい方々でした。同じ年の Keibha と日本でいう中学1年生の Bronagh そしてホストマザーとホストファザー、犬の2匹の6人家族と共に2週間を過ごしました。

初めてお会いした日・・・会えるのを本当に楽しみにしてたよ！と言いながら家族みんなでお迎えしてくださいました。私が疲れていないかなどと気遣ってくださいながら家を案内してください、その後ウッドデッキでティータイムをしました。



平日・・・放課後は、主にホストシスターたちと家でゲームをしたり映画を見たりショッピングをしたりしました。日本のゲーム機 Wii があって驚きました。他にも、途中でバスを降りアイスクリーム屋さんや雑貨店に寄ったり、ホストマザーとスーパーマーケットで次の日の食事の材料を買ったりしました。スーパーマーケットで売られている商品の商品も日本のものより大きく、野菜や果物は量り売りで売られていました。日本と同じくセルフサービスのレジもありました。



夕食の時間の近くになるとホストシスターたちと一緒にホストマザーの夕食作りをお手伝いしました。下味をつけたり野菜やお肉を切ったり、



テーブルをセッティングしたり、洗い終わったお皿を棚に戻したり。おしゃべりしながらのお手伝いはとても楽しかったです。オーストラリアの食べ物や料理についても教えてもらいました。夕食は“家族全員がそろって食べる”という家族のルールがあり、みんなでテーブルにつき、今日のあった出来事などを話しながら、夕食を楽しみました。オーストラリアに行く前は食事について少し不安なところもありましたが、そんな不安はすぐになくなるくらいおいしい料理ばかりでした。食事の後には必ず毎回オーストラリアのデザートが出てきました。私はそれが大好きでした。夕食後は、家族みんなで私の英語が上達するようにとスペリングや英単語、文のゲームをしました。ユニークなゲームで毎晩とてもおもしろかったです。ある日には、夜に映画館に行きアクションムービーを見たりもしました。1番の思いでは、家族みんなで CD のレコーディングをして世界に1つだけの CD を作ったことです。ホストはみんな音楽が大好きで、演奏するのも歌うのもとても上手でした。1人ひとりの声が入った We Are The World の CD は私の宝物です。



三田市の名誉市民であるコリンカймさんのお見舞いにも、もう1人の派遣性とホストと一緒に行きました。午前中はピクニックをした後、ブルーマウンテンズ市の副市長さんとお会いし、Eco スポット（スリーシスターズなど）をまわり、昼食にはカンガルーと羊のミートパイを食べました。午後からは三田市との姉妹都市の記念公園やカルチャーセンターなどをまわり、

お見舞いの品をみんなで選んで買った後、お宅を訪問しました。とても温かく迎えてくださり、お話しながら楽しい時間を過ごしました。

休日・・・オーストラリアにある様々な観光スポットに連れて行っていただきました。

1週間目：Featherdale Wildlife Park というコアラなどのオーストラリアの動物たちとふれ合える動物園に行きました。日本では見たことのないようなきれいな色の鳥や不思議な鳴き声の鳥など本当に様々な種類の動物たちがいました。カンガルーにえさをあげたり、ワラビーをなでたりハリネズミの針にふれたりとかくさんの動物とふれ合うことができました。鳴き声の真似をしたりジョークを言ったり、驚かされたりしながら和気藹々と動物園を楽しみました。



昼食には、ホストファミリーお気に入りの日本食レストランでお寿司を食べました。日本のものとは違いカリフォルニアロール風でしたが、とてもおいしかったです。

他にも、エアホッケーで対決したり、ダンスのゲームをして遊んだり、大型ショッピング・センターでお買い物をしたりとオーストラリアに到着してからの2日間を楽しみました。

2週間目：土・日を利用してお泊まりでシドニーに行きました。朝早くホストファザーの運転する車で出発し、観光を楽しみました。



～1日目～海の近くに行きました。SEA LIFE という水族館や世界の有名人がリアルに作られた人形の館などたくさんの所に行きました。海の近くと言うこともあってか、気持ちの良い風が吹いていて空気もカラッとしていて過ごしやすかったです。夜にはシドニーのきれいな夜景を見ながらディナーをいただきました。フィッシュ&チップスを食べたのは初めてでしたが、本当においしくてびっくりしました。

～2日目～午前中は Market City でお買い物をしたり、朝食を食べました。朝市みたいなものも開かれていて賑わっていました。午後からは、観光スポットとして有名な所をまわりました。オペラハウスやハーバーブリッジをはじめ309mの高さのシドニータワー・アイなどいろいろな所を見ることができました。向こう岸に渡るために、Water Tax という15人くらいが乗れる黄色の小さな船に乗りました。夕日をバックに海側から見るシドニーの景色もとてもきれいでした。その後ショッピングをしシドニーを楽しみました。



お別れの時・・・朝4時起きとかにも関わらず、笑顔で見送ってくださり “You have become a part of our family.” (あなたは私たち家族のひとりだよ。) と言ってくれました。うれしかったです。距離は離れていても、海の向こうに家族がいて応援してくれていると思うとがんばろうと思えます。

本当にほんとうに楽しい時間、思い出をありがとう。

◎両国間の違いについて・・・

	日本		オーストラリア	
	長所	?Question?	長所	?Question?
学校で	<p><授業> 時間厳守で、きちんと全員が着席し、静かに先生のお話を聞く。 授業以外のことはあまりしない。</p>	<p>発言機会が少なめで、受け身の授業になりがち。 授業中に手を挙げて質問をするなどはしない（ひかえめ）</p>	<p><授業> 伸び伸びとした環境で生徒が自由に発言や質問を先生にぶつけ、活発な授業。 発言機会も多い。</p>	<p>チャイムが鳴っても急がない。 授業中に立ち歩いたり、iPad で関係のないことをしたり、常にイヤホンを耳につけている人もいる。</p>
	<p><学習スタイル> 授業のために予習や復習を行い、家庭学習をする。</p>	<p>教材は紙がほとんどで荷物が多い。</p>	<p><学習スタイル> 教材の多くは電子化がされているので、荷物が軽い。</p>	<p>家庭では、宿題以外ほとんど学習しない。</p>
日常生活で	<p><時間> 決めた、もしくは決められた時間をきちんと守る。</p>	<p>時間に追われるようではせわしない。</p>	<p><時間> ゆったりとしていて焦らない</p>	<p>時間にはあまり厳しくない面も多い</p>
	<p><食文化> 栄養バランスが良くヘルシーなものも多く比較的健康的なよい</p>	<p>無理なダイエットをする人もいる</p>	<p><食文化> 無理はせず好きなものを好きに食べる。</p>	<p>栄養が偏りがちで、嫌いな食べ物は口にしようとしにくい傾向も。</p>

それぞれの良さがあり、どちらが良いとは決められません。

日本人が「勤勉である」と言われるのがよく分かりました。オーストラリアの方々は広大なオーストラリアの地のようにおおらかで陽気で、そして親切な方ばかりでした。

他の国を知ることで、日本の良さ、そして疑問点が見えてきます。見えてきた疑問点について見つめ直してみたいと思います。

今回感じた“ちがひ”というものを尊重し、異文化理解を深めていこうと思います。

◎最後に・・・

今回このような貴重な機会をいただき、本当に充実した2週間を送ることができました。

小さなハプニングもありましたが、それも全て良い思い出となっています。

オーストラリアから異文化を学ぶとともに、改めて日本の良さも見えた気がします。

様々な経験をさせていただいた中で少しですが自信も生まれ、以前よりもっと世界に目を向けられるようになりました。

お忙しい中時間を合わせオリエンテーションに来てくださり、プレゼンテーションや英語のご指導をくださいました Brett (ブレット) 先生、本当に様々な面でサポートしてくださった三田市国際交流協会、ブルーマウンテンズ市国際交流協会の皆様、出発に当たり激励をくださった協会会員の皆様、私たちの活動を記事にくださるパイン倶楽部の皆様、家族や友だち、そして何より温かく私を迎えてくださったホストファミリーや学校の皆様をはじめとしたブルーマウンテンズ市の方々・・・

本当にたくさんの人に支えられ無事すばらしい2週間を終えることができました。

この場をお借りしまして、深くお礼申し上げます。貴重な経験を本当にありがとうございました。

これを機に、これからも国際的な人材を目指し、日々努力していきたいと思います。

必ずまた、オーストラリア、ブルーマウンテンズ市を訪れたいと強く思います。



I'll never forget the time

I spent with many warm-hearted people...